

# 2016年10月9日 主日礼拝 〈洗礼式・聖餐式〉

司 会 ①山田兄            ②高山吉兄            ③広山兄

奏 楽

祈 禱 ①三浦兄            ②川田兄

賛 美 聖歌604番「数えてみよ主の恵み」  
(主を喜ぶことは) (御手の中ですべては変わる)

十 戒

聖 書 ①② ヨハネによる福音書20章11～18節 (P176)  
③ コロサイ人への手紙3章12～20節 (P317)

音 楽 ワトト・クワイア(V)

メッセージ ①② 「なぜ泣いているのか」 坪井永城副牧師  
③ 「愛はすべてを完全に結ぶ帯」 大川従道牧師

賛 美 「カルバリ山の十字架」 (399番・献金)

頌 栄 「主の祈り」 アーメン

祝 禱

「わたしは心優しく、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。」  
(マタイ十一の二十九・新改訳)

## 【大和ニュース】

☆受洗おめでとうございます。①村上賢一郎兄(学生会)

☆本日の聖餐式は敬虔な心と姿勢をもってお受け下さい。(先週受けなかった人のみ。)

・本日、入門講座Ⅱ、SS主任会、J・Plus(中・高・学・青)、YYタイム(12:30・森チャペル)

☆東京カルバリーは5時。渋谷区広尾5-9-7。21CCC。説教は大川牧師。倉知師。

・今週も祈禱会を大切に！水曜夜と木曜朝。説教は倉知契副牧師。

・準備祈禱会は、金曜夜9時から。説教は大野メディア主事。熱く祈ります！

\*「断食祈禱会」は、金曜9時～15時(主の十字架の時間帯)。説教者は6人。

・ICA運動会は、明日朝10時から。シャローム館裏 Tガーデンにて。(雨天:森チャペル)

- ・「召天者記念礼拝」は15日(土)15時。相模メモリアルパークにて。納骨者4人。
- \*「ワトコンサート」の入場券は、ロビーにて。 \* GLSのチケットもロビーにて。
- \* 川口真琴さんは、25日までガーナ。お祈り下さい。

## 石の枕

「わがたましいよ 主に感謝せよ

あなたの一生を 良いもので満たして下さる」 (詩篇103篇2節、5節)

私の書斎に置いてある色紙の聖句である。

この原稿を月曜の朝に書いている。昨日の出来事や神様からいただいたあふれる恵みの数々を想い起して感謝×10回のひとときである。皆様の笑顔が浮かんで来て、それが私を励まし大きな力となる。勿論、聖霊様の油注ぎは、別世界に導いてくれる濃厚で親密なる甘い空間である。

以下は「徒然なるままに」。ブルーマンデーの散歩。

曾野綾子さんはカトリック系の作家であるが、発想が実にユニークで、教えらえることが、多々ある。(しかし気をつけるべき文章も多くある。)

「人間には、記憶するよさもあれば、忘れるよさもある。忘れる、ということは、偉大な才能であり、神の恵みであり、場合によるが徳ですらある時がある」(「悪と不純の楽しさ」より)。本の題名からして、この名文のすべてを肯定できないが、人生で受けた傷や憎しみ等、忘れる、ということが、偉大な才能であり、神の恵みであるのご意見は、非常によろしいと思う。(いいね！)

高齢化社会になり、教会人の忘れものも多くなってきた。その点、この教会は、偉大なる才能の持ち主、才女才男があふれかかっている。それらの仕草もとてもカワイイ！こんな文章がかけるのも、牧師がその領域に入りつつあるから、元来の寛容に加えて恵みも増しているからであろう。まことに「安心・安全な教会」である。牧師の身を削って語る説教も、ケロッと忘れることも、偉大な才能であり、恵みであると受容できるのも、かなり高いレベルの賜物を有する牧会者である!?

少なくとも、憎しみや呪いや裁くことなどは、すべて神様まかせで生きる。不機嫌は罪である。「だから、復讐を神に任せる、などという発想はほんとうに好きだ。信仰を持つとは、この世が不公平である現実を承認することだ、と言った人がいる。なぜなら、裁きも天国も次の世にあるのだから、今ここで、少しの違いをとやかく言わないのが信仰だというのである。」曾野さんに感謝！

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！  
Aコース:コロサイ1章～ I テサロニケ3章 Bコース:イザヤ41章～58章